

IGF2023に向けた国内IGF活動活発化 チーム第24回会合議事録

開催日時： 2022年9月16日(金)17:00-18:40

開催場所： オンライン開催

参加者（五十音順・敬称略）： 計17名

青木	邦哲	株式会社ASJ
飯田	陽一	総務省
Kashiwazaki	Hiroki	近畿大学
加藤	幹之	MK Next（司会）
木村	孝	JAIPA
佐々木	雅人	フリーランス
Suga	Yuji	Internet Initiative Japan, Inc.
高松	百合	株式会社日本レジストリサービス(JPRS)
玉置	奈那	総務省データ通信課
根津	智子	JPNIC
野村	美佐子	特定非営利活動法人支援技術開発機構
浜田	忠久	JCAFE
堀田	博文	JPRS
Wei-Ting	Hung	台湾陽明交通大学・大阪大学交換留学生
本田	聖	個人
前村	昌紀	JPNIC
山崎	信	JPNIC（議事録作成）

資料：

1. [プログラム委員会からの報告](#)
2. [プログラム委員会アジェンダ+メモ](#)
3. [ユース活動案](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認

- IGF2023ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
- MAG会合の報告および共有
- 2022 秋イベント（日本インターネットガバナンスフォーラム2022～IGF2023 日本開催を見据えて）について
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
- ユース活動の方針提案について
- チーム定例会合の運営方法について

2. 前回議論の振り返り

[第23回会合議事録](#)を参照のこと

3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チームtodo一覧表](#)を参照のこと

4. IGF2023ホスト（政府）としての検討状況報告

総務省飯田氏より、次の通り共有があった。

- 国連ミッション来日について
 - 会場候補地を3ヶ所下見し、（国連IGF事務局による選定）結果待ち
 - 主要な方々（村井慶応義塾大学教授、江崎東京大学教授、総務省国際戦略局長）との会談など
- IGF 2023準備状況について
 - エチオピアで開催されるIGF 2022までには開催地と時期が決まることになる。
 - IGF 2022でブース出展を依頼されており、IGF 2023および日本そのもののアピールをしていけるコンテンツを考えたいと思っている。
- IGFリーダーシップパネルについて

- IGF強化に関する議論中、ハイプロファイルなパネルを作り発信するアイデアが繰り返し出されていたが、今回IGFリーダーシップパネルが作られ、15名のパネリストが参加することになっている。来年のIGFのホスト国として総務審議官がパネルに参加することになっている。

5. IGF MAGメンバーからの報告

河内氏が欠席のため、飯田氏より次回MAG会合が来週に予定されている旨報告があった。

6. 秋イベント（事前会合／本会合）およびプログラム委員会について

上村氏の代理として山崎より、資料1にて説明を行った。主に公募したテーマセッションのフォロー状況、メインセッション、ニューカマー向けセッション、Day 0セッション、挨拶者およびその内容についての検討状況が共有された。

● 後援について

- 2022秋イベントは活発化チームが主催となっているが、総務省の後援を得る必要性が出た場合には、JAIPAやJPNICで後援依頼を出せば良いのではないかという意見があった。結論は、JAIPAおよびJPNICの名前を何らかの形で出すこと、および総務省に後援いただくということとなった。詳細についてはプログラム委員会で進め、後援の手続き等について総務省内で確認することとなった。

● 挨拶について

- 9月8日の国連IGF事務局との面談時にMasango室長から2022秋イベントにビデオメッセージにて挨拶したいとの提案があった。秋イベントのプロモーションや活発化チームの活動の拡大などの観点から事務局長による挨拶は好ましいとの議論があり、挨拶をいただくことに合意した。なお、挨拶の内容についてはある程度内容のあるメッセージをいただくこと、および事前にテキストを頂き和訳の準備を考えることとなった。詳細についてはプログラム委員会に任せることとなった。
- 協議会が設立されればその代表者等に挨拶を依頼することをプログラム委員会で検討することとなった。
- 総務省が後援することに決まれば、総務省から挨拶をいただくことを検討する。

7. 協議会について

前村より、協議会設立に向けた準備状況について説明があった。設立発起人候補となる団体は、IAJapan、経団連、JAIPA、JPNIC、WIDEプロジェクトが予定されているとのことである。秋イベントに合わせ協議会設立についてできるだけ発表したい旨についても共有された。

消費者側の人などが設立発起人に欠けていること、裾野を広げていく必要性について参加者から質問があり、これに対しては軽くして立ち上げたのち皆さんをお誘いすることとしたい、と発表者から回答があった。

協議会についてイメージがつきにくいので、秋イベントにはどういったものかわかるようにしてほしい、というコメントが別の参加者からあった。

8. ユース活動について

山崎より、資料3に基づき、前回第23回会合での検討内容およびその後のコメントを反映したもののついて説明した。

参加者より、参加を希望する若者を探し出すのが困難なので、情報工学や法学の学生向けに授業を行うことで学生の関心を喚起してはどうか、というコメントがあった。

議長より、そろそろ動き始める必要があるため、チームメンバーで大学で教えている方々などに声掛けを依頼などしてはどうか、というコメントがあった。

9. チーム会合の運営について

本田氏より、分科会を作り、チーム会合ではもっとコンテンツを扱った方がよいのではないかという提案が口頭であった。さらに具体的な提案を提出いただくまでは継続検討事項とすることになった。

10. 本日の議論を受けたTodo確認

Todo 1. 総務省側実行委員会／協議会について

- 引き続き状況を共有する（飯田）

Todo 2. 秋イベント

- 挨拶者およびそのプログラムへの組み込みについて検討する（プログラム委員会）

Todo 3. 協議会

- 協議会設立に向けた準備状況について、引き続き状況を共有する（前村）

Todo 4. ユース

- （山崎）

Todo 5. 活発化チームWebページ

- 23日までコメント期間とし、9月30日夕方に公開する（山崎）

11. 次回会合開催日時

- 10月3日(月)17-19時とすることとなった。

12. その他

- 高松氏より、国連関係者との面会の模様について報告があった。
 - 高松氏に写真と簡単な説明を記載した案を本チームメーリングリストに送っていただき、Japan IGFのWebに掲載するべく勧めることとなった。
- 山崎より、すでに案を作成しメーリングリストで何件かコメントが記入されている、本チームを紹介するWebページを作成中なので、コメントを頂きたい旨発言した。